さかた

令和４年11月16日

市議会だより

第73号

「亀ケ崎獅子舞」（酒田市指定無形民俗文化財）

9月定例会

令和３年度決算認定
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、原油価格・物価高騰等総合緊急対策などによる補正予算を可決

ホームページはこちらから

酒田市議会　検索

目次

常任委員会活動報告 …… P2
7月臨時会の概要、代表質疑、委員会審査
8月臨時会の概要、委員会審査
9月定例会の概要、代表質疑、委員会審査 …… P3～8
一般質問／18人が登壇 …… P9～15
7月臨時会・8月臨時会・9月定例会審議結果一覧、
請願・意見書審査結果一覧 …… P16～17
12月定例会の開催予定、傍聴案内、編集後記 …… P18

管内視察報告【10月5日】

総務常任委員会

委員長　池田　博夫　議員

学校視察
（浜中小学校、広野小学校、第四中学校）

浜中小学校は、特別活動や縦割り活動などを通し、生徒の主体性を育む活動に力を入れており、特に児童会主催の運動会では、企画から準備、実施、振り返りまですべて児童が行うというすばらしい取り組みであった。

広野小学校では、タブレット端末の使用により、児童のプレゼン力の向上がみられ、学習する上で、一つの重要なツールとなっていることを確認した。また、児童の地域学習に対する積極的な姿勢に感心した。

６年生の英語の授業（広野小）

第四中学校では、小中一貫教育の考えのもと、生徒の「未来を切り拓いていく力」を育むことを目標に掲げ取り組んでいた。また、部活動の地域移行についても検討を進めていることを確認した。

生徒数の減少が見込まれる川南地区だが、今回の視察ではＧＩＧＡ（ギガ）スクール推進事業の導入により、学習活動の充実が図られていることを実感した。

市民との意見交換会【8月1日】

民生常任委員会

委員長　江口　暢子　議員

テーマ「空き家対策」
（空き家等ネットワーク協議会）

今回、常任委員会として初めて関係団体をお招きして意見交換会を行った。意見交換会は対面式ではなく、※1ワールドカフェ方式を採用した。議員からは「対面式の意見交換では、やりとりが一方通行になることもあったが、そうならなかった」「実務者の方々の視点は、自分たちの見方と違っていて大変参考になった」との意見もあった。また、参加いただいた空き家等ネットワーク協議会の方からもワールドカフェが好評であり、意見交換できたことに満足いただけたようであった。

対応策としていろいろ意見が出されたが、「空き家」の実態（解体費用など）の見える化や危険回避につながる事例の情報提供など広報を通して『もっと知ってもらう』ことも重要であることがわかってきた。今回いただいた意見も参考に、民生常任委員会で政策提言としてとりまとめ、当局に提案するよう準備したい。

テーブルごとに意見を交わす

企業視察報告【10月28日】

建設経済常任委員会

委員長　安藤　浩夫　議員

株式会社和農日向、株式会社酒田ＤＦ育成牧場、株式会社鳥海高原デーリィファーム

飼料用もみ米を利用し、※2ソフトグレインサイレージ調製に取り組む和農日向を訪問した。もみ米を破砕処理することで良質なサイレージ化が可能となる施設で破砕機や調製行程の説明、現在の出荷状況や将来展望などを確認した。続いて、酒田ＤＦ育成牧場および鳥海高原デーリィファーム酪農牧場施設の視察を行った。今冬の大雪などで建築計画の変更もあったが、今年９月に完成。本市の旧鳥海高原牧場を引き継ぐ形の酪農牧場と和牛子牛の生産を行う育成牧場の広大な施設では、地元の産業振興、雇用創出が期待できる。また、耕作放棄地を活用した飼料用作物の生産、もみがらの敷きわら使用、家畜排せつ物を活用したバイオガス発電所の建設なども予定され、循環型農業の取り組みなども説明いただいた。建設経済常任委員会では、今後も耕畜連携の取り組みに注目していきたい。

酒田ＤＦ育成牧場

※１ワールドカフェ：少人数テーブルごとに対話をする方式。一定時間ごと席替えを行う。少人数で対話することで相手の意見を聞きやすく、自分の意見も言いやすいのが特徴。

7月臨時会

令和4年7月19日
会議期間1日間

7月臨時会の議案等

●市長提出案件……1件

令和4年度一般会計補正予算（第4号）を審議しました。

議案は、予算特別委員会の審査を経て本会議で採択が行われた結果、可決されました。

代表質疑

市長提出議案に対する質疑では、7月19日に各会派等の代表1人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

共産党市議団

市原　栄子
議員

低所得世帯等生活支援臨時給付金の給付対象世帯の拡大を

問　今回の補正予算は、県の冬季の灯油等助成事業と国の臨時交付金を活用して、例年の金額に上乗せしての事業であるが、国の臨時交付金の考え方は、原油価格や物価の高騰に対しての市民生活応援であり、給付対象者をすべての住民税非課税世帯や生活保護世帯へも広げるべきと考えるが所見を伺う。

答　**市長**　給付の対象世帯は、住民税非課税世帯のうち、満65歳以上の高齢者のみ、障がい者、ひとり親、在宅の要介護4または5の方を構成員とする世帯を対象とし、低所得世帯などの中でも特に支援が必要な方に支援を行うものである。生活保護受給世帯は、暖房費相当額が生活扶助の冬季加算として措置されているため、県の補助金交付要綱の給付対象から除かれている。また、1世帯10万円を給付する住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金など、生活保護受給世帯に対しても、給付金などで支援が行われている実態を鑑みて、今回の低所得世帯等生活支援臨時給付金の対象とはしていない。

予算特別委員会

7月19日に令和4年度酒田市一般会計補正予算（第4号）を審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

8月臨時会

令和4年8月9日
会議期間1日間

8月臨時会の議案等

●市長提出案件……2件

令和4年度一般会計補正予算（第5号）を審議しました。

議案は、予算特別委員会の審査を経て本会議で採択が行われた結果、可決されました。

予算特別委員会

8月9日に令和4年度酒田市一般会計補正予算（第5号）を審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

※2ソフトグレインサイレージ：飼料用米を乾燥せず、そのまま破砕処理し、フレキシブルコンテナパックなどに密封保存してサイレージ化（乳酸発酵）したもの

◆9月定例会◆

令和4年9月12日～10月3日
会議期間22日間

9月定例会の議案等
●市長提出案件……31件
●請願……1件

令和4年度一般会計補正予算（第6号）をはじめ、右記議案などを審査しました。
議案は、各常任委員会、予算特別委員会および決算特別委員会の審査を経て本会議で採択が行われた結果、可決・承認・同意されました。

代表質疑

市長提出議案に対する質疑では、9月14日に各会派等の代表5人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

市政研究会

齋藤　美昭
議員

小中一貫教育、スクール・コミュニティ推進の取り組み

問　本市の特色を生かした小中一貫教育ビジョンの策定や今年度からの導入に向け、関係者の研修や各中学校区で協議を重ね、9年間のグラウンドデザインづくりに取り組んだとある。具体的内容、今年度の実施状況や課題を伺う。

答　**教育長**　教育目標「酒田市まなびの樹」を定義し「自己効力感育成」「学習習慣形成」「目的意識を持つ」に注力する教育などの共通理解を図り、今年度は教職員研修会などを行った。今後は地域にも説明していきたい。

問　市長施政方針では、学校と地域が一体となって学校運営に取り組む「コミュニティ・スクールの推進」とあったが、「スクール・コミュニティの推進」に変更された。方針転換した経過と方針の違いを伺う。

答　**教育長**　「スクール・コミュニティ」は、学校や地域との協働関係をより良好にしていくという考え方で、充実させる方法として「コミュニティ・スクール」がある。連携協働の意味では大きな方針転換ではないが、方法として、小中一貫教育は中学校区で地域活動を考え直していただくとしている。

市民の会

武田　恵子
議員

水道事業広域化の進捗状況は

問　全国で水道管の破裂などの事案が発生している状況を見ると、本市も人ごとではない。監査意見にも庄内圏域の水道事業広域化を市民や市内事業者に対し情報の提供・共有をより広げ、理解を深めてもらい、他市町、県との協議を進展されたいとある。他市町との協議の進捗状況、県との協議の状況を伺う。

答　**上下水道事業管理者**　5月に庄内地方重要事業要望、7月は酒田市重要事業要望、8月の知事と県内13市市長会との意見交換会では、庄内広域水道用水供給事業と2市1町（酒田市、鶴岡市、庄内町）との垂直・水平統合の早期実現を知事に直接要望を行った。知事からは県水道広域化推進プランで経営基盤強化の方針をまとめていくと回答が示され、年内に公表予定である。引き続き、2市1町が足並みを揃え、県との協議に臨んでいく。

問　2市1町とあるが、三川町と遊佐町はどうか。

答　**上下水道事業管理者**　三川町は鶴岡市から供給を受けており、供給エリアとしては2市2町である。遊佐町は自己水源での運用が前提になっており、参入の予定はない。

志友会

田中　廣
議員

デジタル変革の推進

問 オンライン受付の来庁不要行政手続きが令和2年度27の手続きから同3年度末194になった。偏りがあり、受付率が上がらないようだが、その要因を伺う。

答 市長 国が優先的にオンライン化を推進すべきとした31手続きを優先してきた。受付件数の多いものを優先して取り組んできたとは言えないことから、オンライン受付が即座に内部システムに反映されないため、プリントアウトして決裁するなど、業務の効率化のメリットにつながらない側面もあった。

問 デジタル変革によるコストが増加している。費用対効果、今後の見通しを伺う。

答 市長 デジタル変革の効果は、ペーパーレス化に伴う経費削減、時間や場所にとらわれることなく申請ができる市民サービスの向上、自動化・迅速化することで職員の生産性の向上などにつながっている。習熟度に時間を要するツールによっては、少し長い目で見たときに効果が生じる例もある。導入にも維持管理にも膨大な経費を要するシステムを安直に導入するのではなく、財政負担と効果を引き続きしっかりと検証していきたい。

市共産党議団

斎藤　周
議員

丸山市政2期目の中間点、公約の実現度達成の総括を

問 令和3年度は丸山市長2期目の中間点であるが、これまでの公約の実現度達成の総括について所見を伺う。

答 市長 令和元年9月に市長に就任し、「未来への投資」、特に子育て環境の充実と各分野を担う地域を支える人財の育成に力を注ぐ思いで市政運営に取り組んできた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本市を取り巻く環境が大きく変わる中、感染拡大の防止、地域経済や市民生活を支援する施策を最優先に取り組むとともに、総合計画に掲げる目指すまちの姿の実現に向け、政策・施策を展開、コロナ禍を契機に酒田市デジタル変革戦略を策定し、行政、地域のデジタル化に取り組んだ。加えて、1期目に種をまき育てた事業が実を結び始め、2期目の中間点の総括としては「住みやすく、賑わいに満ちたまちづくり」の実現に向け、着実に前進していると捉えている。屋内型大型児童遊戯施設は公約に掲げ実施できていないが、コロナ禍の克服、市の財政を第一に考えたときに優先度として高くできない事情は、御理解をいただきたい。

新政会

齋藤　直
議員

基金の規模と運用

問 財政調整基金では32億円を超える残高があり、令和元年度と同等となっている状況である。市長が日頃から話している30億円程度が中期的な目標水準として取られていることはおおむね順調と考えるが、類似団体の平均は、令和3年度末では50億円とまだ差が大きいようだ。基金の中には、ここ数年使われていない基金もあるようだが、本市での適正な基金規模、運用を伺う。

答 市長 財政調整基金の中期的な目標水準である30億円は何とか確保することができた。今後もこの類似団体の平均値を目指すことも視野には入れていくが、原油価格・物価高騰による光熱水費など、本市としても歳出の増額が見込まれる厳しい状況であり、当面の目標として、引き続き財政調整基金残高30億円をしっかり確保できるよう財政運営に努めていきたい。財政調整基金以外の特定目的基金は、これまでも少額で分散する複数の基金統合を進めてきたところだが、基金造成の経緯、活用目的を十分考慮しながら、統合などを検討していきたい。

賛成討論

認第1号　令和3年度酒田市一般会計歳入歳出決算の認定について

新政会
安藤　浩夫　議員

令和2年度、実質単年度収支は赤字だが、令和3年度は12億9908万9000円の大幅な黒字となった。財政力指数、基金現在高、市債残高は令和2年度の類似団体より下回っており、さらなる努力が必要である。しかし、ふるさと納税の大幅な増加や収入未済額の減少など、職員の努力による業務執行が黒字決算につながった大きな要因の一つとして考えられ高く評価する。以上のことから、認第1号は適正と評価し賛成討論とする。

反対討論

請願第2号「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める請願

新政会
齋藤　直　議員

税の公平性と社会保障への安定的な財源の確保には、インボイス制度の導入は必要と考える。消費税は、消費一般に広く公平に支払うべき税金で、今後の少子高齢化社会の加速が予測される上で、今までの高齢者中心となっていた社会保障制度を子育て世代や現役世代にも使える全世代型に転換を図り、次世代に引き継ぐために、安定的な財源が必要である。よって、請願第2号は反対とする。

常任委員会

9月22日に各常任委員会、10月3日に総務常任委員会を開催し、議案11件と請願1件を審査しました。

総務常任委員会

議第67号酒田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてのほか、議第68号、議第69号および議第72号の議案4件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第2号「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める請願については、賛否両論があり、起立採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決定しました。

また、10月3日に追加提案された議第76号請負契約の締結について（国体記念体育館大規模改修工事（建築工事））のほか、議第77号および議第78号を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第70号酒田市国民健康保険条例の一部改正についてを審査しました。

審査の結果、議案は原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

議第71号酒田市手数料条例の一部改正についてのほか、議第73号および議第74号を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

議第61号令和4年度酒田市一般会計補正予算（第6号）のほか、議第62号から議第66号までの議案6件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

決算特別委員会

認第1号令和3年度酒田市一般会計歳入歳出決算の認定についてのほか、認第2号から認第9号までの議案9件を審査しました。

審査の結果、認第4号令和3年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定については賛否両論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決すべきもの、そのほかの議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

主な質疑

◎令和3年度一般会計

「総務部」

広報広聴活動推進事業

問 Twitter（ツイッター）で「酒田市」が出てこない。理由は「あののんもしぇのん(公式)」という名前でやっているためで、酒田市という言葉も#（ハッシュタグ）もないため検索でひっかからない。改善が必要ではないか。

答 広報に関するアンケートでも、同様の意見をいただいた。速やかに改善したい。

他の項目／消防団運営事業、防災対策強化事業、飛島津波等避難対策事業、派遣研修事業、基本研修事業、徴収管理業務事業、滞納整理事業

『酒田市公式』と追加し、探しやすくなりました

「企画部」

デジタル変革事業

問 貸館業務で体育館などスポーツ関係以外が未だに電話での仮予約、用紙での申請となっている。デジタル変革の中でこのままでよくないと思うがどうか。

答 すべてできれば利便性も上がると考えるが、施設によってはこれまでのアナログの方法が件数などの面でも楽なところがある。オンライン化のための回線、パソコンの設置などランニングコスト、費用対効果も考え、優先順位などを勘案し決める必要がある。

他の項目／大学まちづくり推進事業、東北公益文科大学定住促進事業、庄内空港振興事業、鉄道高速化利用促進事業、駅周辺整備事業、酒田らしい景観づくり事業

「地域創生部」

結婚推進支援事業

問 民間の相談所もある。プロの方のマッチングのノウハウを利用しながら、民間とのタイアップも必要ではないか。

答 少子化対策、市がやることでの安心感など行政が行う理由もある。いろいろな場面に参加することで成婚率が上がることもあるため、その方に合った婚活の支援を行っている。連携できるものがあれば、もちろん連携していきたい。

他の項目／男女共同参画推進事業、女性活躍推進事業、ふるさと納税推進事業、国際交流推進事業、観光戦略・インバウンド推進事業、若者地元就職推進事業、人材確保支援事業、若者地元就職魅力発信事業、中小企業融資資金貸付事業、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業、元気な小規模事業者持続化特別助成事業、産業振興まちづくり推進事業

「市民部」

飛島ポケットパーク整備事業

問 令和3年度で事業終了とのことだが、飛島地区の空き家の件数は。

答 現在、苦情が来ている件数として押さえているものは2件である。ただし、実態としてはもっと数は多いと認識しているが、正確な数字は把握していない。

他の項目／消費者行政推進事業、安全・安心

のまち酒田推進事業、防犯灯管理事業、空き家等総合対策事業、コミュニティ振興事業、結婚・誕生記念お祝い事業、飛島活力再生推進事業、飛島海の拠点整備事業、八幡地域おこし協力隊活動支援事業、中山間地域活力向上事業、猛禽類保護センター利活用事業、ごみ減量化推進事業、不法投棄防止対策推進事業

「健康福祉部」

地域福祉推進事業

問 一人暮らしの方が自ら救急安心カードの更新をするのは難しい。民生委員や自治会長が声をかける方向にはできないか。

答 地域包括支援センターなども通しながら、周知にも力を入れていきたい。

他の項目／生活困窮者自立相談支援事業、災害時要援護者避難支援事業、障がい者ほっとふくしサービス事業、障がい児ほっとふくしサービス事業、意思疎通支援事業、地域活動支援センター事業、老人クラブ助成事業、子どもの貧困対策推進事業、保険料負担軽減事業、保育士等処遇改善事業、乳幼児健診事業、妊娠・出産・子育て包括支援（ネウボラ）事業、中町にぎわい交流プラザ管理運営事業、健やかさかたヘルスケア推進事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業、食習慣改善事業、健康増進事業、若年者検診事業、後期高齢者検診事業、地方独立行政法人病院事業運営費負担事業、夜間診療事業、診療所管理事業、看護専門学校管理運営事業

「農林水産部」

森林病害虫等対策事業

問 被害にあっている木は全部伐倒できたか。

答 市有地にあるものは伐倒している。工業団地やNEXCO（ネクスコ）など民間の土地にある木は、県が所有者に働きかけをしているが、全てできないという事情もある。森林整備区域では、市が県知事の特別許可を得て、伐倒する場合もある。

他の項目／酒田地区農産物輸出推進協議会負担事業、多面的機能支払事業、新型コロナウイルス関連農業打撃克服対策事業、気象災害対策生産資材等緊急支援事業、さかた型地域材利活用推進事業、森林ボランティア育成事業、アメリカシロヒトリ駆除対策事業

「教育委員会」

教育相談事業

問 適応指導教室（ふれあい教室）に通う児童生徒の学校復帰率が高い。その理由は。

答 適応指導教室の先生方の児童生徒に寄り添った指導の在り方、学校と連携して、総合的にうまく機能しての成果だと考えている。

他の項目／東北公益文科大学連携推進事業、教育支援員配置事業、学力向上対策事業、外国語指導助手招致事業、学校ICT環境整備事業、大学等修学支援事業、小学校給食事業、学校給食施設環境整備事業（小学校）、中学校給食事業、成人式開催事業、文化芸術推進事業、子ども読書活動推進事業、スポーツ行事開催事業

◎令和3年度特別会計予算

「後期高齢者医療事業特別会計」

低所得者への軽減特例の見直しなどによる本市での影響

人事案件に同意

9月12日に提案された酒田市教育委員会委員の任命について、議会は全会一致で同意しました。

任期は令和4年10月1日から令和6年11月28日までです。

教育委員会委員

阿部　浩　氏

一般質問

9月30日～10月3日に計18人が質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

保育園児の命を守る

遠田　敏子
議員

問 静岡県の認定こども園で痛ましく許されない事件が起きてしまった。命を預かる現場においてはいかなることも想定し、常に職員の確保と安心安全な保育が保証されるべきであると考える。コロナ禍にあって本市保育施設での職員体制を伺う。

答 副市長 クラス担当職員が感染した場合は、代替職員を配置し、複数人感染した場合は、休園やクラス閉鎖などで対応している。

問 本市にも通園バスがあるが、送迎時のチェック体制を把握されているか。

答 副市長 国の調査結果で市内の送迎バスを運行する16園では、マニュアル作成などでの安全管理、乗降車時の全園児チェックをしていた。過去に見落としもないと回答しており、適正に運行していると捉えている。

問 政府がまとめる緊急対策への認識は。

答 健康福祉部長 国の検討状況を見ながら随時、各園に周知し、支援していきたい。

問 定期的な職員研修の必要性を伺う。

答 健康福祉部長 安全管理研修を実施しているのは2園のみで少ないと考える。各園と協力し推進していきたい。

他の質問
ワンストップで市民に寄り添うお悔やみ窓口、令和5年1月軽・※JNKS導入

市民の生命と生活を守る農林水産業

武田　恵子
議員

問 野菜の大生産地が天候不順や災害に見舞われると販売価格が高騰した。ウクライナ情勢の変化で、自給率の低い穀物やエネルギーの確保に苦慮するようになった。食料自給率が低いのにせっかくの農地を耕作しないのはもったいない。本市で耕作放棄地を減らす方策は執られてきたのか。

答 農業委員会会長 酒田市農地集積センター地区会議での農地利用調整、いわゆる農地のマッチングを行っている。農業委員は7地区ブロック会議を毎月実施している。今後も耕作放棄地になりやすい農地のパトロール活動を強化し、発生防止に努めたい。

問 農地に雑草が茂っているよりは食材になるものを生み出すように活用する方策はないのか。

答 農業委員会会長 国からは「人・農地プラン」を法定化し、地域農業の将来の在り方などを地域計画として市町村が策定することが示された。耕作放棄地解消や多様な農地利用も選択肢として含め、地域との話し合いを重ね、各関係機関と連携し、取り組んでいかなければならないと考える。

他の質問
防災機能としての農地・山林水産資源の確保策

※JNKS（ジェンクス）：自動車税納付確認システム

公共施設などの適正化マネジメント

後藤　泉
議員

問 公共施設適正化実施方針が策定され1期目7年が経過したが、その進捗状況はどうか。また適正化対象施設の地域、使用している団体との協議や合意形成が大事だと考えるが、どのように進めて来たのか伺う。

答 市長 施設に係る機能の適正化では、複合化・統合が29件、移管が16件、廃止が15件で合計60件。建て替えや除却など建物の在り方に係る適正化では、本庁舎や斎場のような建て替えが8件、転用が3件、売却・除却などが27件で合計38件。施設廃止や移管を行う際は、各所管課で自治会などへ説明を行っている。

酒田市八幡斎場

問 多くの市民や観光客などが訪れることを想定している観光などに関連する公共施設は、常に維持・修繕・更新が求められる。そのためには施設ごとの細かな計画が必要と考えるがどのようにされているか伺う。

答 市長 管理計画は策定していないが、修繕計画を立て、優先順位を見極めて管理している。

他の質問

インフラ施設（公園）の遊具等の新設、維持、管理計画

地域おこし協力隊の活動

安藤　浩夫
議員

問 本市においての地域おこし協力隊は、平成24年から現在着任中の方を含め、16名が配置されてきた。今までの活動をどのように捉え、分析しているか。また定住化の動向を伺う。

答 市民部長 地域活性化に寄与していると評価している。任期終了後も本市に残る隊員も多く、移住・定住の観点からも効果があるものと捉えている。

問 地域になじめず、25％の隊員が任期途中で辞めている。隊員とのミスマッチの解消、地域の意識改革、受け入れ体制づくりをどのように考えているか伺う。

答 市民部長 審査面接には地域の方々も入ってもらい採用している。活動し始めてアンマッチも出てくる。相互理解を深め、課題解決に向かう体制を作ることが大切と考える。

問 今後、各地区の課題に対して適材適所、タイムリーな人選や登用が必要になると考えるが、今後の方向性を伺う。

答 市民部長 本市では※フリーミッション型で募集し高い定住率につながっていると受け止めている。今後は具体的課題を募集要項に記載し、募集することも検討したい。

表題以外の質問はありません

タブレット端末利活用の読書活動への影響は

佐藤　弘
議員

問 本市では数十年も前から読書活動を大切にしてきている。平成元年度、本市小中学校を会場に開催された東北地区学校図書館研究大会では「魅力ある学校図書館づくり」について研究を深め、成果を共有し今に至っている。一人1台のタブレット端末導入により、タブレット端末を利活用する時間が増え、読書量および読書の時間が減るなど学校図書館を活用し、ことばを大切にした豊かな読書活動に影響が出ているのではないか。タブレット端末利活用の読書活動への影響について伺う。

答 教育長 GIGA（ギガ）スクール端末導入前に行っていた学校での読書活動に引き続き取り組んでおり、読書時間は確保されている。ただ、全国学力・学習状況調査によれば家庭での読書時間は減少傾向にあると理解している。読書活動は非常に重要であり、減少がみられる場合は原因を分析していきたい。

答 教育次長 東北地区学校図書館研究大会をきっかけに現在も国語の授業を中心とした読書指導や児童・生徒会の自主的な活動により魅力ある学校図書館の運営が行われており、負の影響を与えていないと考える。

他の質問

小中学校の特別教室にもエアン設置を、スポーツによる賑わいとまちづくり

※フリーミッション型：課題の設定を自ら行い、自由に活動に取り組むこと

屋内児童遊戯施設整備の検討状況

後藤　啓
議員

問 本市は屋外での子どもの遊び場が充実しているが、屋内での遊び場は交流ひろばの「児童センター」くらい。山形市の「べにっこひろば」、天童市の「げんキッズ」、東根市の「さくらんぼタントクルセンター」などは駐車場、遊具も充実している。本市にも屋内児童遊戯施設を整備すれば、県内外からも家族で訪れる人が増え、観光も賑わっていく。本市の屋内児童遊戯施設整備の検討状況を伺う。

答 市長 令和2年度に市民の意見を聞きながら基本計画を策定するとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、検討を中止している現状である。市民の強い要望がある事業であると認識しているが、優先度が高い施策として実施することが非常に困難である。新型コロナウイルス感染症の今後の状況、そして何よりも市の財政状況などの推移を見守って整備の必要性や整備手法の在り方などについては仕切り直しで取り組んでいきたい。屋内児童遊戯施設整備の議論を再開する際には、子育て世代をはじめとして幅広く意見を伺って検討を再開していきたい。

他の質問
秋田・酒田交流事業「親子で行こう！大森山動物園」の成果

本市のスポーツ少年団の現状と課題

齋藤　美昭
議員

問 スポーツ少年団の概況をみると、全国的に少子化やコロナ禍などの影響で減少傾向にある。本市の現状について伺う。

答 教育次長 本市のスポーツ少年団の団員数は合併後、平成18年度がピークで2711人、令和4年度は、団員数が1293人、登録団数は81団、指導者数335人、役員・スタッフ数は156人、加入率30・99％で団員数、加入率ともに減少している状況にある。

問 日本スポーツ協会（JSPO）は、今後、すべてのスポーツ少年団の指導者がJSPO公認スポーツ指導者資格保有者であることが必須条件となる。今後のスポーツ少年団については、団員の確保と同様に、指導者の確保、育成も不可欠である。資格関係の改定に関わる現状と課題について伺う。

答 教育次長 新制度への完全移行が令和6年度となっており、各団の指導者は令和5年度までにスタートコーチの資格を新規取得する、もしくは認定員からコーチングアシストへの資格移行が必要になっている。今後は資格移行に伴い、引き続き、指導者確保に努めることが課題と捉えている。

他の質問
新型コロナウイルス感染症関連対策事業の取り組みと課題

子どもの意見表明権を尊重したまちづくりを

斎藤　周
議員

問 来年4月1日からこども家庭庁設置法が施行される。この法律の第3条に子どもの意見を尊重することが明記された。本市の子どもの意見表明権を重視した取り組みとしては、現在の総合計画を策定する際、高校生なども参加したワークショップなどがある。そこで、こども家庭庁設置法にいわゆる子どもの意見表明権を尊重することが明記されたもとで、本市として子どもの意見表明権を尊重したまちづくりについての所見を伺う。

答 健康福祉部長 具体的な施策の取り組みとして、市民参加をより一層推進するため、平成31年4月に「条例・計画等の策定時における市民参加を推進するためのガイドライン」を策定し、全ての条例、計画などの策定において委員会、審議会など、また、説明会、アンケート、ワークショップ、パブリックコメントの市民参加プロセスを組み入れている。今後も中学生、高校生が参加しやすいワークショップの実施に努め、子どもの意見も取り入れたまちづくりに取り組んでいきたい。

他の質問
本市が除雪作業員を直接雇用して派遣を

若者と学生のまちづくり参画

大壁　洋平
議員

問 多くの市民がまちづくりに興味をもち、参画していくことは重要であり、特にこれからまちの未来を担う若者や学生を巻き込んでいくことは大切である。若者や学生が市政に参加することで、本市に新たな価値観や姿勢が産まれ、また郷土愛が育まれ、人口減少の抑制にも繋がる。本市の若者や学生の市政参画への取り組みについて所見を伺う。

答 企画部長 高校生や東北公益文科大学の学生が参加したワークショップの実績は、総合計画の前期計画期間5年間で19件である。ワークショップ以外の取り組みとして、東北公益文科大学の学生が、本市の課題解決に係る提案を行う課題挑戦型インターンシップ、一般社団法人酒田青年会議所の主催により、酒田東高等学校の生徒が、「必ずよくなる私たちの酒田」というテーマで、酒田に足りないものや未来のために何ができるかを問題提起し、市長と意見交換を行なっている。

他の質問
子どもや家庭に対する切れ目ない支援と地域での子育て

本市における平和都市宣言の意義と取り組み

江口　暢子
議員

問 本市の平和都市宣言の意義は。

答 市長 ロシアによるウクライナ侵攻は、改めて、恒久平和の重要性と理念どおりにはいっていない世界の厳しい現実を突きつけられたと受け止めている。平和への願いを再認識することが大切であり、平和の尊さを市民が共有しながら恒久平和を願い続け、しっかり次の世代へ引き継いでいくことを意識づけするものと認識している。

問 酒田市美術館と土門拳記念館の共同企画で開催された「―ヒロシマ・ナガサキ―江成常夫と土門拳　2つのまなざし」。こうした平和に関する取り組みで「平和都市宣言　酒田」と銘打つことが、平和都市宣言としての取り組みになるのではないか所見を伺う。

答 市長 さまざまな機会に平和宣言をしている都市酒田として、平和の大切さをぜひアピールしていきたい。今後の活動を展開するに当たっては、そういったことを銘打ちながら、さまざまな事業を展開していきたい。できれば、広島市長を酒田に招聘をし、その思いなどをお聞きする機会を市民に提供できたらという思いを持っている。

他の質問
国際交流の現状と課題、子どもの居場所となる適応支援室

未来を担う子どもの笑顔があふれるまち

伊藤　欣哉
議員

問 マッチングアプリを取り入れた結婚支援強化策は考えられないか。

答 地域創生部長 本市も参画しているやまがたハッピーサポートセンターのマッチングアプリでは、山形県全域での結婚支援のため、本市限定ということにはならないと思われる。マッチングアプリも手段としては非常に大事だが、結婚に対する意識改革、あるいは結婚を受け入れる家庭、地域の意識醸成、社会づくりも大事と考える。

問 保育施設などでのおむつの※サブスクリプションは有効な対策である。一部支援しながら全市的に普及拡大は考えられないか。

答 健康福祉部長 紙おむつ定額サービスは先駆的な取り組みであり、地元に工場のある花王株式会社との連携により導入でき、大変うれしく感じている。導入はそれぞれの園、保護者の判断になる。影響などを十分検証し、補助していくか検討する必要がある。保育施設の入所者に対しては、本市独自の保育料の軽減策などもあり、子育て世帯の方々の意見を聞いていきたい。

他の質問
本市の豪雨対策

※サブスクリプション（サブスク）：定期的に料金を支払い利用するサービス

防災への女性職員の関わりと避難所のトイレ

佐藤　猛
議員

問 避難所運営に関わる防災担当部署の女性職員の割合は、全国平均で9・9％である。避難所の運営には女性ならではの細かい視点が必要として、女性の視点を生かす環境づくりに取り組む自治体が増えている。本市の防災・危機管理への女性職員の関わりはどうか。

答 危機管理監 危機管理課の女性職員比率は16・7％で庁内の比率30％まで届いていない。多くの女性が防災・危機管理部門で働くことにより、防災対策や避難所運営に女性の声が反映させやすくなる。先進事例を参考に女性職員の関わりを検討していきたい。

問 災害時の避難所運営において、水や食料同様に必要なものが、衛生的でプライバシーを守れるトイレの設置だが、避難所におけるトイレの準備状況はどうか。

答 危機管理監 既設洋式トイレの便器にかぶせて使用するタイプや段ボールを組み立てて使用するタイプを学校やコミュニティセンターに約4万2千回分配置している。衛生面やプライバシーに配慮した場所を選定し、間仕切りやポップアップテントなどを使い、プライバシーに配慮することになっている。

他の質問
インボイス制度の準備、学校等のてんかん発作時のブコラム投与

山居倉庫マスタープランあと半年で完成

後藤　仁
議員

問 山居倉庫保存活用計画策定委員会がこれまで3回開催されたが、委員会の状況と保存活用計画はどこまで議論されているか。今後開催される予定と内容は。

答 教育長 11項目の定めるべき内容の中で、現在6項目まで協議している。計画書は年度末までに文化庁に提出し、令和5年度の早い時期に認定をいただく想定である。

問 来年度、山居倉庫は市で購入し、整備計画を策定するが、工事までのスケジュールと市民参加の考えは。

答 教育長 保存活用について市民参加のワークショップを開催し、市民の声を計画に反映させたい。整備は令和5年から6年度に整備基本計画を策定する。

問 運営体制は財団方式ではどうか。

答 教育長 事業が多岐にわたるために、保存活用計画を適切に遂行できる職員体制の充実を図っていく。将来的には組織の新設も検討したい。

国指定史跡となった山居倉庫

他の質問
公共施設適正化進捗状況

郷土愛ある子どもたちの育成

市村　浩一
議員

問 どの地域でも人口減少が進む中、持続的に発展し続けるためには市民が地域社会に対して誇りや愛情をもち、酒田に「住み続けたい」と感じることが必要である。先人たちの生きざまに触れ、地域の価値を発見・認識し大切にしようとする「郷を大切に想う子ども」を育成することが大切である。そのためには、地域の歴史を学ぶことが大切であり、義務教育の中に郷土史の授業を取り入れるべきではないか。

答 教育長 歴史が好きな児童・生徒もいれば、自然や産業に興味を抱く子どもなど、郷土に対する子どもたちの興味は一人一人それぞれ多様である。さまざまな視点から郷土について学習を深めていくことで、酒田の魅力を再発見して、酒田をより好きになることにつなげていきたい。郷土愛を高めていくために郷土史を学ぶことは、非常に大切なことだと考えている。また、郷土史だけではなく、酒田の自然、環境や産業、そういったことをさまざまな視点から学ぶことも併せて重要なことだと考えている。

他の質問
光ケ丘野球場、酒田DMO（ディーエムオー）

災害時避難の環境整備

冨樫　覚
議員

問　災害関連死の研究に取り組む「避難所・避難生活学会」は『※TKB48』を合言葉に、避難所の改善を訴えている。TKBのTは質の高い「トイレ」、Kは質の高い「キッチン」、Bは質の高い「ベッド」を48時間以内に整備することが、災害関連死を減らす重要なポイントだと提案している。『TKB48』について本市ではどのように考えているか。

答　**危機管理監**　本市では、※スフィア基準の精神である「被災者の尊厳ある生活の確保を目指す」という趣旨を踏まえ、災害時の市民の命を守るために、総合的によりよい避難所環境をつくっていきたい。

問　避難所に設置する仮設トイレはすべて洋式に替えるべきと考えるが、その計画を伺う。

答　**危機管理監**　洋式トイレのほうが足腰の負担が少ないこと、若い年代であまり和式トイレを利用したことのない人もいるため、災害時の避難所には洋式トイレを優先的に配置するように協定企業に要請していきたい。市内のレンタル業者で所有する数量で足りなこともあるため、全国ネットワークの活用や国に対する要望などで問題解決していきたい。

※TKB48（ティーケービーフォーティエイト）

他の質問

食料自給率向上、米粉利用拡大、一時避難所のWi-Fi環境の整備

特定有人国境離島地域の飛島追加のメリットは

市原　栄子
議員

問　飛島を特定有人国境離島地域にすることで、航路に係る運賃などの低廉化、生活または事業活動に必要な物資の輸送コストの低廉化、雇用機会の拡充、滞在型観光の促進などが言われているが、具体的に運賃がどの程度低廉化するのか、また具体的な施策を持っているのかお尋ねする。

答　**市民部長**　特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、一層の飛島振興が図られる。交付金を受け、島民の定期船運賃をJR在来線の運賃並み、具体的には往復でおおむね1600円程度に、漁業者の魚介類の出荷に係る飛島酒田間の輸送費の負担を最大8割まで軽減、雇用機会の拡充では、事業経費の支援、滞在型観光の促進では、実証実験などの経費の支援を受けられる。

問　特定有人国境離島地域になることと引き換えに防衛施設の建設、自衛隊の配備や施設建設が新たに行われるのではないかと危惧するものであるが、考えを伺う。

答　**市長**　現下の状況で離島が重要であることから指定をお願いしている。その中で国の施設の配備などを要望していることではない。

他の質問

防災のまちづくりの取り組みは

ユーチューブを活用した広報活動

松本　国博
議員

問　本市は月2回発行の広報「私の街さかた」やホームページ・SNSなどを駆使し、幅広く情報提供をしているが、映像による情報発信は市民はもとより市民にとどまらない方々にも酒田の現状や良さを伝えることになると考える。未だコロナ禍により集会を控えなければならない現状においても、変化する社会情勢に対応した市長の方針を市民にダイレクトに伝える方法としてユーチューブなどの映像配信を活用できないか伺う。

答　**市長**　行政と市民を直接つなぐ媒体、ツールとして、パソコンなどの活用、そのための第一弾の仕掛けとして「市民マイページ」を企画している。これは単なる情報を一方的に流すプッシュ型の情報提供ではなく、双方向で市民と市政についてやり取りをする場にも活用したい。ユーチューブも悪くはないが、イベントなど楽しい話題はいいが、行政課題など市民の皆さんと真剣に考え合う場としては、この「市民マイページ」を使えたらいいと、今検討をしているところである。市長と市民を直接つなげるためのSNS、あるいはデジタル媒体として、力を入れていきたい。

他の質問

PayPay（ペイペイ）キャッシュレス決済キャンペーンの総括と今後の取組み

※スフィア基準：「人道憲章と人道対応に関する最低限の基準」として人間が生命を維持するために必要な最低限の水、食糧、トイレの設置基準、避難所の一人あたりの最小面積などを定義した国際基準

本市における環境政策の方向性

佐藤　喜紀
議員

問　温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指す改正地球温暖化対策推進法が今年4月に施行され、世界的な課題となっている気候変動問題などに対応するため脱炭素社会の実現に向けた取り組みが活発化するものと見込まれる。今回の改正では、実行計画に実施目標の追加を定め、再生可能エネルギー利用を促すなどの実効性向上を図るとしているが、本市における区域施策の策定計画や方向性について伺う。

答　**市長**　地球温暖化対策推進法における地球温暖化実行計画・区域施策編は、市町村の区域全域を対象とする計画であるが、その策定については、都道府県、政令市など以外の市町村は努力義務であったこともあり、本市は未策定の状況である。現在、環境省の意見や専門的知見を持った学識経験者からの助言を受けながら、本市においても地球温暖化実行計画・区域施策編の策定に向けた作業を進めており、令和5年度以降の取りまとめとなる見込みである。今後、この計画を踏まえて地域全体でのカーボンニュートラルの取り組みを推進していきたい。

他の質問

ふるさと納税による自主財源の確保

Diary 議会活動日誌

7月

8日　議会報編集委員会
　　全議員勉強会
12日　各常任委員協議会
　　総務常任委員勉強会
14日　議会運営委員会
19日　**7月臨時会**
　　本会議
　　予算特別委員会
　　議会運営委員会
　　議会報編集委員会
20日　議会改革推進特別委員会
25日　飛島視察（～26日）
27日　建設経済常任委員勉強会
28日　総務常任委員勉強会
31日　全議員勉強会

8月

1日　意見交換会
　　（民生常任委員会）
3日　総務・建設経済常任委員協議会
4日　議会運営委員会
9日　**8月臨時会**
　　本会議
　　予算特別委員会
　　議会運営委員会
24日　民生常任委員勉強会
　　全議員勉強会
　　委員長会議
26日　建設経済常任委員勉強会
30日　各常任委員勉強会

9月

1日　各常任委員会
　　（所管事項調査）
　　各常任委員協議会
　　総務常任委員勉強会
5日　議会運営委員会
12日　**9月定例会（～10/3）**
　　本会議
　　議会運営委員会
　　民生常任委員協議会
14日　本会議
15日　決算特別委員会
16日　決算特別委員会
19日　議会運営委員会
21日　決算特別委員会
22日　各常任委員会
　　総務・建設経済常任委員協議会
　　全議員勉強会
　　議会報編集委員会
26日　予算特別委員会
　　議会運営委員会
28日　本会議
　　全員協議会
29日　本会議
　　議会運営委員会
30日　本会議
　　民生・建設経済常任委員協議会

10月

3日　本会議
　　総務常任委員会
　　議会運営委員会
5日　総務常任委員会管内視察
21日　議会報編集委員会
28日　建設経済常任委員会企業視察

令和４年第４回７月臨時会　議決結果一覧

議案番号	件名	結果
議第５９号	令和４年度酒田市一般会計補正予算（第４号）	可決

令和４年第５回８月臨時会　議決結果一覧

議案番号	件名	結果
報第１１号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
議第６０号	令和４年度酒田市一般会計補正予算（第５号）	可決

令和４年第６回９月定例会　議決結果一覧

議案番号	件名	結果
報第１２号	令和３年度酒田市一般会計継続費精算報告について	報告
報第１３号	令和３年度酒田市風力発電事業特別会計継続費精算報告について	報告
報第１４号	令和３年度酒田市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
報第１５号	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の令和３年度における業務の実績に関する評価について	報告
認第１号	令和３年度酒田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第２号	令和３年度酒田市定期航路事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第３号	令和３年度酒田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第４号	令和３年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第５号	令和３年度酒田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第６号	令和３年度酒田市風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第７号	令和３年度酒田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第８号	令和３年度酒田市水道事業会計決算の認定について	認定
認第９号	令和３年度酒田市下水道事業会計決算の認定について	認定
議第６１号	令和４年度酒田市一般会計補正予算（第６号）	可決
議第６２号	令和４年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第１号）	可決
議第６３号	令和４年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決
議第６４号	令和４年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	可決
議第６５号	令和４年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決
議第６６号	令和４年度酒田市風力発電事業特別会計補正予算（第１号）	可決
議第６７号	酒田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議第６８号	酒田市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決
議第６９号	酒田市過疎地域固定資産税課税免除条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	結果
議第７０号	酒田市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議第７１号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第７２号	請負契約の変更について（中町にぎわい健康プラザ駐車場改修工事）	可決
議第７３号	令和３年度酒田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第７４号	令和３年度酒田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第７５号	酒田市教育委員会委員の任命について	同意
議第７６号	請負契約の締結について（国体記念体育館大規模改修工事（建築工事））	可決
議第７７号	請負契約の締結について（国体記念体育館大規模改修工事（電気設備工事））	可決
議第７８号	請負契約の締結について（国体記念体育館大規模改修工事（機械設備工事））	可決

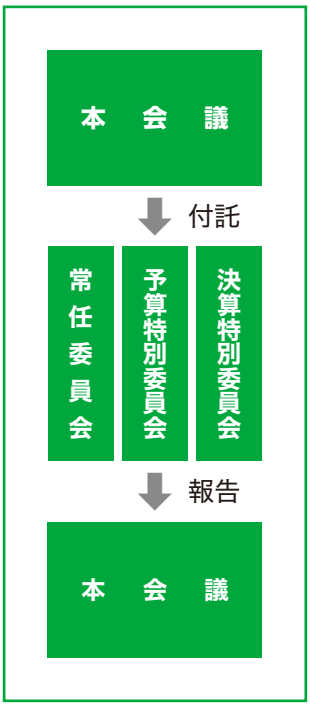
９月定例会で審議された請願・意見書

	受理番号	件名	請願者	結果
請願	請願第２号	「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める請願	酒田民主商工会　会長　渡部　実 庄内農業農民運動連合会　会長　小林　隆範	採択

	議案番号	件名	宛先	結果
意見書	議会第５号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書について	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣	可決

市議会の審議はどう進められるの？

市議会には、毎年3月、6月、9月、12月に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。



本会議は、議員全員と市長ほか執行機関の長などが議場に集まり開かれる会議です。

- **提案理由説明**　提案者である市長が議案の内容を説明します。
- **代表質疑**　議案について、会派等の代表が質疑を行います。
- **委員会付託**　議案を効率的かつ専門的に審査するため、委員会に付託します。（※委員会に付託しない場合、本会議で審議します。）

委員会では、本会議での付託を受けて、本会議の審議に判断材料を提供するための審査を行います。酒田市議会には、**総務**、**民生**、**建設経済**の**３常任委員会**と、予算を審査する**予算特別委員会**、決算を審査する**決算特別委員会**などがあります。

本会議と同じように質疑、討論を経て、採決により委員会の意思を決定します。

- **委員長報告**　付託された各委員会の委員長が、審査結果を報告します。
- **質疑**　各委員長の報告に対し、質疑を行います。
- **討論**　採決の前に、必要に応じ議題となっている案件に対し、反対、賛成の意見を表明します。
- **採決**　議長が議員に賛否の意思表示を求め、議会の意思を決定します。

このほかに、本会議には市政全般について報告、説明を求め、または疑問を質す一般質問があります。

また、上記のほかに円滑な議会運営を協議する**議会運営委員会**があり、必要に応じて特定の案件を**調査研究する特別委員会**が設置される場合もあります。

スポット

スポットでは、酒田市議会からのお知らせを掲載しています。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

本会議および予算特別委員会は、原則どなたでも傍聴することができます。

本会議を傍聴される場合は、市役所３階、議場の傍聴席入口前にある傍聴受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

各委員会も、原則どなたでも傍聴することができます。

受付は、開会予定時刻の30分前から議会事務局で行います。各委員会の傍聴定員は５名です。受付順ですが、定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手指の消毒にご協力をお願いします。傍聴者やご家族に発熱などの症状が見られるときは傍聴できません。

９月定例会中の傍聴者数　　個人 16 名、団体１　計 33 名

酒田市役所ほか、庄内地域をロケ地に撮影された「アイ・アム まきもと」の上映を記念し、主演の阿部サダヲさんを一日市長として「模擬議会」を開催しました。

次回定例会のお知らせ（予定）

- ■会期日程 …… 12月２日～12月15日
- ■代表質疑 …… 12月 ６日
- ■常任委員会 …… 12月 ７日
- ■予算特別委員会 …… 12月 ８日
- ■一般質問 …… 12月13日～15日

※詳しい日程は、11月28日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

12月定例会 請願締切 11月25日（予定）

表紙写真説明

亀ケ崎獅子舞（亀ケ崎十一面観音堂春祭り）

●上演：毎年４月１８日 午後３時～４時ごろ　●場所：酒田市亀ケ崎五丁目1-38

亀ケ崎の獅子舞は古式十二段の舞から構成され、四方固め、八方固め、天地、幕祈り、幕返し、怒り、かなしみ、悪魔払いからなっています。静寂と動の舞が織りなす優雅さは、古式能の流れを受け継ぐ深い趣を感じさせます。

地　図

編集後記

議会報編集委員会
委員　斎藤　　周

編集後記まで議会報をお読みいただきましてありがとうございます。今年は７月に参議院議員選挙がありました。選挙最終盤に元首相が銃弾に倒れる事件があり、全国の地方議員も衝撃を受けたことでしょう。さて、今回の選挙の選挙区の投票率の全国平均は52.05％でした。山形県はというと61.87％と国政選挙では４回連続全国一となりました。その理由としては、県民の謹厳実直さではと言われています。では酒田市はというと59.90％で県内では最下位。政治に携わる者として、投票所に足を運んでもらえるような魅力ある政策を市民に示す必要があるのだが。

さかた
市議会だより

発行／酒田市議会　　議長／髙橋　千代夫
山形県酒田市本町二丁目2番45号
電話 0234(26)5770　FAX 0234(26)5790
e-mail:gikai@city.sakata.lg.jp

※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。

詳しい議会日程や酒田市議会の様子はスマホからもご覧いただけます。

文字は、ユニバーサルデザインの文字を使用しています。
発行部数 四二、〇〇〇
酒田市議会 議会報編集委員会 編集